



馬來 政成

bioloop 代表(養蜂業)
子どもの放課後デイサービス
道の駅センザキッチンのウェブサイト更新

04

-北部-

| 応募のきっかけは?

東京の登山用品店で働いていましたが、たまたま手にした雑誌「ソトコト」に長門市協力隊の小坂保成さん(P.8掲載)の記事が載っていたんです。楽しそうだなと思いました。ちょうどその時に協力隊を募集していたので、3年間やってみようかな、と。

| どのような活動をしたいと思っていましたか?

具体的なイメージはありませんでした。自分のやりたいことに取り組んで、その結果が地域の役に立てばいいな、と思っていました。

| 着任してみて、想像と違っていたことはありましたか?

漁村は多少閉鎖的な面があるとは聞いていましたが、地域のおばさん方が親切してくれたので、徐々に慣れていきました。朝が早く、明け方から大声が聞こえてきた

り、地区清掃に参加しようと集合時間に行つてみたら、既に終わっていたり、などの戸惑いはありましたね。

| 印象に残ったことはありますか?

通(かよい)地区の景色や路地が味わい深いので、半年間じっくり考え、「くじらの里スタンプラリー」を企画しました。巡るスポットを選び、スタンプをデザインし、オリジナル切手も作りました。1か月間の実施で、スポットの一つである「くじら資料館」への来館者が10倍になりました。東京や広島からも参加者があつて嬉しかったですね。



はちみつ分離機



| 困難な局面をどう乗り切りましたか?

活動先が世代分裂てしまい、やりたいことができない状況になったときは、かなり悩みました。悩んだ末、両方に関わるようにしましたね。大変な時期でも、協力隊みんなで毎週ミーティングをし、情報交換をして…励みになりましたね。今でもその繋がりは続いています。

| 現在、そしてこれからについて

現在は、養蜂業、子どもの放課後デイサービス、道の駅センザキッチンのウェブサイト更新などを行っています。忙しいですが、全部楽しいので何とか回っている感じです。将来は、養蜂業で生計を立てたいと思っています。天候や気温を見ながら巣の状態を観察し、病気やカビ対策、餌の調整など気が抜けませんが、蜂の行動や個性は奥深く面白いので、いずれは見学や体験もできるような形にしたいです。



ハチミツ

| 協力隊を目指す人や後輩へのアドバイス

協力隊だからこそ注目してもらえることが多く、市内で話しかけられたりテレビに取り上げられたり。そういうきっかけから今の仕事にもつながっています。逆に、周りの目や期待がある分、他の隊員と比較されてプレッシャーになることもあります。特にやることもなく飛び込むのは難しいかもしれません、地域に来て目を凝らせば、やることが見つかるかもしれません。

まきまさなり
馬來 政成さん

| 協力隊として

- | 着任地 | 長門市(通)
- | 活動期間 | 2014年7月～2017年6月
- | 活動内容 | 地域資源を活かした地域活性化支援

| 現在の仕事

bioloop(ビオループ)代表(養蜂業)、子どもの放課後デイサービス、道の駅センザキッチンのウェブサイト更新など



製造所(青海島共和国内)

馬來さんのあゆみ

2014.春

2014.7

2015.4

2016.3

2017.初め

2017.6

2017.冬

○ 長門市協力隊の小坂保成さんの記事を読む
○ 協力隊着任

○ ブログを立ち上げて2年
地引網体験を紹介したところ、それまで毎回2組程度だった参加者が20組に増加!

○ 「くじらの里」スタンプラリー実施
クジラ資料館への来館者が10倍にアップ!

○ 卒業後について考え始める
○ 協力隊卒業

○ 任期後も、任期中から手伝っていた仕事を継続
○ 個人事業主として起業

養蜂業、子どもの放課後デイサービス、道の駅センザキッチンのウェブサイト更新などを仕事として定住